

6次産業化部門の充実による 経営の安定に向けて

甲賀農業普及指導センター

【普及活動のねらい・対象】

Rファームは、水田116haにおいて50品目以上の農作物を栽培されており、農作業受託、直売所等を経営するメガファームです。今後の経営発展のため6次産業化部門の充実を目指し、平成30年に直売所を移転し、新たに農家レストランを整備されました。昨年までの指導から、6次産業化部門の長期的な発展戦略(以下「発展戦略」)がないことや、タマネギドレッシングに次ぐヒット商品がないという課題が明らかとなりました。そのため、6次産業化戦略会議(以下「戦略会議」)を通じて発展戦略を検討するとともに、生産量の増大が見込まれる高糖度トマトの加工品開発等に取り組みました。



写真 Rファーム社員と農家レストラン

【普及活動の内容】

(1) 発展戦略の検討

6次産業化の課題を整理するため、生産部門と6次産業化部門の責任者、関係機関を集め、戦略会議を開催しました。戦略会議では、今後の新商品の加工品開発計画、プランナーの招へい等について検討し、発展戦略の作成を支援しました。

(2) 新商品の開発

発展戦略に基づき、6次産業化プランナーを招へいして試作品の開発や販売戦略等の検討を進めました。また、高糖度トマトの加工品や、キッチンカーでの移動販売を想定した野外販売用の新加工品の開発を支援しました。

【普及活動の成果】

発展戦略の検討では、今後6次産業化部門を担う担当者育成や、新商品開発方針等を盛り込んだ発展戦略の素案が作成できました。新商品の開発については、高糖度トマトの加工品としてミネストローネが開発できました。また、野外販売用の新加工品として、「スイカスムージー」と「おにぎらず」が開発できました。これらはイベント等で非常に好評で、今年のヒット商品となりました。当センターでは、今後もRファームと協議を重ねながら、6次産業化部門が順調に発展できるように支援していきます。

◎対象者の意見

今までの活動で、6次産業化部門はしっかり経営の柱となり、農林水産大臣賞も受賞でき、非常に喜ばしい。今後も戦略をもって発展させていきたい。(Rファーム)